

“ふるさとちば”のための政策推進を



たけだ正光県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

県政に新風 皆様の声を生かします

医療問題など県民の視点で要望質問

流山市特集 9月県議会一般質問

「県民の生かせる県政改革を進める」と今春の県議選・流山市選挙区で初当選した武田正光(たけだまさみつ)県議は、38歳。若さと行動力だけでなく、高い識見と論理的な発言力も注目され、県政に新風を

送り込んでいます。

9月県議会で初登壇。小児救急医療や周産期医療の充実を提言要望した「医療問題」、流山市の区画整理事業など「整備問題」を中心に「道路問題」「企業誘致」などについて県当局の姿勢を質しました。質疑を1、2面で特集します。

いども電話救急相談

日数増や時間延長検討

武田 小児救急医療について伺います。

平成16年の厚生労働省調査によると、千葉県の一人口10万人に対しての小児科医師数は8・7人で、全国道府県45位であり、本県において小児科医師の増員は急務であり、そのため様々な施策が講じられていると伺っております。

小児救急医療は、保護者の専門医志向と疾病に対する知識不足などの理由から、軽症患者と重篤患者が救急病院に集中、救急医療機関の負担を増大させるという特徴を有しております。

本県は「千葉県だけで出来る」対策として、保護者の不安解消および救急医療機関への小児患者集中の緩和を図るために、平成17年

9月より「小児救急電話相談事業」(通称「いども電話救急相談」)を千葉県医師会への委託により実施してお

ります。実施日時は、土、日曜そして祝日の年間120日程度の19時から22時までの間で、電話受付相談センターに看護師2名、事務員1名を配置し、必要により自宅待機している小児科医1名が相談に応じる体制をとっております。

平成18年度の実績として、相談件数は2215件であり、そのうちの1940件87・6%が第一段階の看護師への相談で、「小児患者の病状に関する不安」を解消することができたこととなっております。この施策は診療ではなく、あくまでアドバイスとして位置づけられますが、数値からも期待以上の成果をあげていると考えられます。

そこで伺います。小児救急電話相談事業について、相談日の増加や時間延長を図るとともに、より一層の保護者へのPRが必要と考

えるかどうか。

健康福祉部長 2215件のうち約8割が看護師による助言や相談のみで済んでおり、子育てをする親の不安の軽減や休日夜間の救急医療機関への過度の集中を緩和する役割を果たしていると考えています。このため今後、相談日の増加や時間延長等について、検討してまいります。

また、PRとしては本年度も9月9日の救急の日に合わせて、医療機関、保健所等にポスターを配布し普及を図りましたが、一層のPRに努めてまいります。

武田 今後ますます若者人口の増加が予想される東葛飾北部保健医療圏において、

小児医療や周産期医療の充実を図る必要があると考えられるかどうか。

健康福祉部長 この医療圏における小児初期救急は在当番医制や夜間休日急病センターが対応しています。二次医療は輪番制で対応、三次の救命救急センター、国保松戸市立病院がこれらを補完している状況にあります。

一方、リスクの高い妊婦に対応する周産期母子医療センターは未整備の状況です。現在、産科の医師確保が非常に厳しい状況ですが、県としては国や県の補助制度を活用して整備が図られるよう関係市や医療機関と協議してまいります。

たけだ正光 PROFILE

略歴

- 昭和44年 8月9日生まれ
- 平成4年 中央大学商学部卒業 公認会計士
- 平成19年 県議会議員初当選

現職

- 県議会 健康福祉常任委員会委員
- 自民党県連 総務委員会委員
- 自民党県連 青年局青年部常任幹事

お気軽にご相談ください。

たけだ正光事務所

〒270-0163 流山市南流山1-1-2-701

TEL 04-7159-0518

発展するTX沿線の整備

つくばエクスプレス

事業の情報公開して

1日でも早い完了を期待

武田 千葉県は、つくばエクスプレスの沿線開発を重点プロジェクトと位置づけております。しかし平成18年度末の千葉県下6地区の平均の事業費進捗率は26.4%であり、同時期の東京都2地区平均40.8%、埼玉県6地区平均46.9%そして茨城県8地区平均33.4%に比べて最も遅れております。

流山市内の沿線区画整理事業は4地区あり、そのうち千葉県施行は流山市木地区及び運動公園周辺地区の2つであります。

県財政が大変厳しいこと



自席で再質問に立つたけだ正光県議

むけ展開してまいりたい。運動公園は今後10年度を目途に主要道路を整備し周辺の土地利用が図られるよう推進してまいりたい。

武田 2点要望させていだきます。

①木地区及び運動公園周辺地区の地権者に対して、地権者の生活設計をして不安解消のためにも、事業全体のおおまかな整備のスケジュールとして、毎年の概

(仮称)新流山橋整備 地域住民のご意見を聞いて

武田 (仮称)新流山橋についてお聞きします。埼玉県の江戸川にかかる現在の流山橋は、平日1日あたり2万2千台以上の交通量があり、渋滞の常連箇所となっております。これまでに、計画沿線の住民の方々の話し合いが進められているところですが、計画区域内に住居を持つ方々の中には、生活設計が立たず不安を募らせている方々もおります。

そこで伺います。

木地区及び運動公園周辺地区の事業の現状はどうなっているか。

まちづくり担当部長 木地区は事業費ベースで今年度末35%、運動公園は同24%の見込みです。

武田 今後、事業を展開するにあたり、両地区の課題や事業の見通しはどうか。

まちづくり担当部長 木地区は平成26年度事業完了に

ねの工事スケジュールを、スピードイカつかつ小まめに情報提供していただくことを要望いたします。

②区画整理を円滑に進めるためには、職員の専門的知識と地権者との信頼関係が必要不可欠であります。短期間の人事異動は出来るだけ避けるなどの特段のご配慮をいただき、県の執行体制を充実していただくことを要望します



県議会控室で県当局と政策協議に臨むたけだ正光県議

いを進めています。必要な測量調査は18年度から実施しております。

武田 今後どのように進めていくのか。

県土整備部長 流山市と連携し住民の理解が得られるよう努めてまいります。

武田 最後に1点要望させていただきます。現在、千葉県と地元流山市とで協議を進めている、松戸・野田有料道路の無料化に伴う主要地方道松戸・野田線の移管問題に関しては、道路補修工事などの地元の要望に対し、可能な限り速やかに対応していただくことを強く要望いたします。

流山市特集 9月県議会一般質問

たけだ正光

たけだ正光県議

9月県議会自民党代表質問

財源不足が拡大、新税源も「検討」

9月定例県議会最大会派の自民党代表質問に阿井伸也県議(山武郡選出、3期)が立ち、財政、医療、道路、農業、教育問題などを取り上げた。

阿井県議は「2億億円にも拡大した財源不足をどうやって解消するのか」と質問。堂本腕子知事は「赤字団体の転落への崖っぷちに立っている。県税の滞納整理や未利用県有地の売却などによる歳入確保を進め、あらゆる財源確保策を検討し、経費の削減に一層努めると答弁。新たな税源についても「幅広く検討する」と答えた。

医師確保策では、県独自の制度として私立医学生への修学資金制度や後期臨床研修医への研修資金貸付制度などを創設したが、植田浩副知事は「当該事業で確保できた医師はまだいない」として事業内容を改善する考えを示した。

議会冒頭あいさつ

流山市選出、自由民主党の武田正光でございます。

このたび質問の機会をお与えいただきました先輩並びに同僚議員の皆様方により深く感謝申し上げます。

私の住む流山市は、千葉県北西部に位置し、西側は、江戸川を隔てて埼玉県と接し、市の北部には日本最長の運河である利根運河を擁しております。江戸時代には、船舶による輸送の利便性の高さや水質の良い江戸川の水により、みりん・酒などの醸造業が発達しました。近年は東京都心から25分圏内という立地条件に加え、平成17年に開通したつくばエクスプレスをはじめとする鉄道や高速道路の整備が進み、都市近郊の住宅都市となっております。

緑豊かでゆつくりとした時間の流れるまち流山。私はこの故郷、流山のために働きたい、恩返しをしたいという思いから、

10代より政治家を志してまいりました。公認会計士として監査法人に勤務をしていた27歳のときに自由民主党に入党し、その後、青年会議所活動や東葛国際映画祭の実行委員長などの地域活動に従事し、触れ合った多くの皆様方のご支援、ご指導をいただき、本年の4月の千葉県議会議員選挙において初当選をさせていただきました。

初心を忘れることなく、千葉県のため、流山市のため、地域のために粉骨砕身、精一杯働いてまいりたいと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。

そして本日は、初の壇上での一般質問ということで、緊張するとともに感無量の心境であります。また本日は、私に対して日頃より大変なご支援、ご指導をいただいております地元流山の後援会の方々が傍聴にいらしておられます。堂本知事として執行部の皆様の前向きなご答弁を心よりお願い申し上げます。